

子ども主体の教育—確かな観に立つ実践の展開—

2007年10月20日 岐阜大学教育学部公開講座の「子ども主体の教育」は、日本学校心理士会岐阜支部との共催で、岐阜市、岐阜市教育委員会、岐阜県教育委員会のご後援をいただき、平成19年10月20日(土)に教育学部B107教室で開催されました。参加者は143名で、県内の小・中学校、特別支援学校の教諭、教育行政の担当者、療育関係者、学生、市民等の多岐に渡りました。

講座では、特別支援教育講座准教授の坂本裕先生より、「子ども主体の教育—確かな『観』に立つ実践の展開—」というテーマで、今年度から本格実施された特別支援教育における子どもの支援に関する基本的な考え方と、知的障害児の特別支援学級、特別支援学校において大事にされなければならない考え方として生活中心教育における子ども主体の教育のあり方について、理論的側面からご講演いただきました。続いて、その実践について、岐阜県立大垣特別支援学校の林晃代先生、岐阜大学教育学部附属中学校の松本和久先生に報告していただきました。参加者一同、理論と実践研究の両面から、確かな子ども観、教育観に立った実践の大切さを学べたと思います。

皆様のご協力に感謝いたします。